

## 平成 20 年度市政懇談会（水産業）会議録

日 時 : 平成 20 年 7 月 17 日（木）午後 2 時～4 時

場 所 : カムスホール

参加者数 : 36 人

|   |   |
|---|---|
| <p>（質問） 漁業者の現状を聞いていただきたい。なかでもイカ釣り船が燃油の高騰により倒産寸前という状況で、昨年から 3 隻が廃業しました。<br/>漁業者の経営存続のために税制面、金融面で助成できないか。</p>             | <p>（回答） 市独自でやろうとしても、燃費の問題は、産業全般にわたる問題であり、なかなか難しいのが現状です。国・県に訴えて、打開策を打ち出していくしかないと思います。<br/>制度資金については、市として全面的なバックアップをいたします。水揚げが上がり、収益が上がるような施策ができるように皆さんの知恵をお貸しいただきたい。</p>   |
| <p>（質問） 漁業者の現状は、水揚げの減少、価格の低迷大変苦しんでいます。有明海の汚染の問題だと思えます。諫早干拓、家庭排水など汚染の原因は複合的なものだと思います。市として水産業の振興対策として、計画があればお聞かせ願いたい。</p> | <p>（回答） 水産業の振興、消費拡大等について、十分な手立てはありませんが、長崎県のブランドとしては「早崎瀬戸あらかぶ」があり、市独自のブランド化を推進するために、深江町の養殖えび、南有馬町のわかめなどを南島原市地域経済活性化協議会で市のブランドとして認定をするべく、体制を作っています。さらに、地産地消を推進していきます。<br/>個人的な考えですが、有明海沿岸の首長さんとの「有明海沿岸サミット」をして、有明海の再生について協議をしたいという考えを持っております。その時には漁民の皆さんにもご支持をお願いします。</p> |
| <p>（質問） 海底耕うんの件ですが、島原から北目の方は 5 年間程度やっている。南島原市も本年度海底耕うんをやるよう準備をしている。その後、稚魚の放流をお願いしたい。</p>                                | <p>（回答） 有明海再生事業として 3 カ年間の県営事業であります。市も負担金を出すようになっています。実績を見たときに有効な施策であることから、現在、耕うんの場所等の選定の協議を行っているところです。また、漁獲量の低迷から、稚魚の放流については側面から支援していきたいと考えております。</p>   |
| <p>（質問） 有明海の汚染が問題になっているが、市内での浄化槽の普及率について教えてほしい。</p>   | <p>（回答） 市内下水及び浄化槽の普及率は、39.4%で、残り約 60%の約 13000 世帯が未設置であります。浄化槽の設置</p>  |

|   |  |
|---|--|
|   | 普及に向けて積極的に取り組んでいきます。   |
| (質問) 魚価を上げるために魚の加工をやったらどうかと思う。県の指定項目にない加工製品を市が指定をし、それらに補助金を出す考えはないのか。   | (回答) 魚価の低迷の打開策として、付加価値を付けて商品化することは有効な手段だと思います。商品開発や販路開拓については、県の指定を受けることが即効性があると考えます。市としても商品開発についての補助金要綱を現在作っているのでご相談ください。  |
| (質問) 先ほど魚の加工について話が出たが、そのための加工場や冷凍施設が南島原市内にないので、その施設を市で作ることはできないのか。  | (回答) 南島原市が加工場を建設することはできません。漁協で加工場の建設をされるなら市は支援は行いますが、独自での建設はできませんのご理解ください。<br>県単独の事業で、水産加工育成事業補助金は、加工商品づくり、その施設やそのための機材・機器の整備する企業に対しての補助事業があり、補助対象は水産業3社以上の企業の規定があります。   |
| (質問) 南部漁協は毎年東京のイベントに参加している。加工しなければ売れないのが現状である。組合から県漁連を通して料亭へ送って3年になるが、年々注文も増えている状況である。販売促進のためのイベントをやる考えはないのか。 | (回答) 長崎県主催で毎年東京のホテルで開催し、全国に長崎県の産品を知らせるためイベントであります。南島原市からそこに出せるような産品があればよいが、出品するにはかなりハードルが高いように思います。また、市単独で東京で産品を継続的に売ることはむずかしいと考えます。一定の商品を、福岡、熊本、長崎とかの地域に絞っていけば物産展も可能ですが、品質管理や販路まで考え、戦略的に産品を選んで、成功事例を作っていくことが大事であります。足元を固めながら物産展のあり方等について検討していきます。 |
| (質問) 付加価値を付ければ高く売れるとの答弁があったが、付加価値の付け方についてどのような指導をされるのか。市としてブランド化の推進を上げているが、どのような推進の仕方をされるのかお尋ねする。             | (回答) どの魚種でやれば可能性があることをご提案いただければ、市として援助できると考えます。全国の市町村が他の地域と差別化し、ブランド化して売ろうとしています。市で取れる多くの産品は他の地域でも取れことから、特に農産物、海産物の場合ブランド化はむずかしいと考えます。<br>先に出たように、南島原市地域経済活性   |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>化協議会を立ち上げ、その下の部会に流通、生産者、県物産流通推進本部等を入れて、生産から販売までの問題点を検討しています。南島原市として成功事例を作りながらやっていく必要があります。そのためにはブランド化のベースとなる産品を高めていかなければなりません。</p> |
|--|---|